

# 新しい年を迎える

08年は激動の年となりました。鈴鹿でも、鈴鹿中央病院での夜間小児内科救急の受け入れ停止、介護タクシーの不正受給問題、新設の給食センターでの異物混入、鈴西小学校校舎の耐震化問題など市民生活に直結した問題が山積みとなりました。世界でもサブプライム問題、リーマンショック、原油価格の乱高下など、動きも非常に大きく、今後数年それ以上に渡つて、私たちの生活に大きな影響を与えることは避けられない状況です。

百年に一度と今回の不況は表現されていますが、世界で同時に起こっている状況は、経済不況の側面だけでなく、「社会」というもうひと大きな枠組みでの変動のはじまりの時期と、私は考えています。先の世界恐慌、第2次世界大戦後の社会変動は、多くの方が経験しているところです。50年ほど前に3種の神器と呼ばれていたモノがありふれた存在となり、自動車も1人に1台とまで言われるなど、経済の変化も大きなものです。



鈴鹿市議会議員なかにしだいすけの活動報告

## 議会報告2009

08年 9月  
～12月

[http://www1.ocn.ne.jp/~daicha/  
daisuke.nakanishi@gmail.com](http://www1.ocn.ne.jp/~daicha/daisuke.nakanishi@gmail.com)

2009  
No.004

発行者:  
中西大輔と鈴鹿を育てる会  
鈴鹿市南若松町296-12  
TEL&FAX:059-368-1110

### 次期行財政経営計画見直し

(意見交換会と審議会を傍聴)

第5次鈴鹿市総合計画の次期行財政経営計画での施策と単位施策の見直しに関する、市民むけに開かれた市の意見交換会に、全6回のうち1回を除き出席しました。

今回見直されたことになったのは、平成21年4月から平成24年3月までに取り組む施策の計画(行財政経営計画)です。それは、「人と文化を育むまちづくり」・「環境と共生するまちづくり」・「暮らしやすいまちづくり」・「誰もが暮らす地域と活力を生み出すまちづくり」・「安全で安心できるまちづくり」の5つと、それらを推進するために横断的に取り組む「構想の推進のために」の計6つで構成されています。

提案の施策と単位施策について、案を読み込んだところ疑問点が多く、交流のある議員間の話し合いでも、施策設定の妥当性、目標数値の設定に疑問がでました。そこで、パブリックコメント(市民からの意見)と同じように、会派のすずか健康部から農業を考える議員の会から意見書を提出しました。それらは、回答とともに審議会に提議されています。また審議会も傍聴

### 議会委員会活動から他の委員会など

をしており、1月9日に最終予定というその方向について関心を持っています。

この施策、単位施策は行政の方針です。

これらから、行政の事務事業が行われています。達成のチェックは行政評価を行われていますので、ぜひ関心をお持ちください。

### 文教福祉常任委員会

(鈴鹿の救急医療体制に取り組み)

文教福祉委員会では、健康づくり課課長も同行した行政視察を経て、鈴鹿市での救急医療体制について取り組んでいます。鈴鹿中央病院で小児内科2次救急の夜間(午後10時半)受け入れが止まり、応急診療所の時間も変わらぬとしています。複雑な要因が絡まり、容易に解決することは難しい状況です。現在、市は一次救急体制の充実に取り組んでいます。医療制度の問題などをはじめとして取り組みにくい問題もありますが、救急車のタクシー的な利用や、支えるセーフティネットを守るべきという考え方とはたして重なるのかという疑問があります。中学校区での再編では公立幼稚園に通うため、自動車などの交通機関の必要性が生まれるなどの問題もあります。次世代育成と地域社会づくりの観点から、今後も会議に関心を持っていきます。

### 鈴鹿亀山広域連合議会

(地域での医療連携を質問)

10月に開かれた鈴鹿亀山地区広域連合議会の一般質問の場で、「鈴鹿、亀山での救急医療連携の現状と、今後の展望について」と「地域における地域医療」についてを質問しました。

救急医療について、鈴鹿市の救急対応病

### 農業を考える議員の会

(鈴鹿産野菜の活用について)

農業を考える議員の会は、9月以降3回開催、先の12月16日は議員間の意見交換を行いました。その際、会の方向の一つとして、鈴鹿市の農業振興と地産地消の面からも、鈴鹿産野菜を給食にもっと活用しようということが出ました。私もその方向で意見を述べました。現在、給食に使われる野菜は、なるべく鈴鹿産とされながらも、30～40%ほどの活用に留まっています。難しい面もありますが、残りの部分について鈴鹿産野菜を活用できれば、農業振興の面だけでなく、安心・安全な食の確保など、鈴鹿市地域内での循環型の社会の構築につながると考えます。

10月10日には、議員全体で豊田市と安城市での農業活性化の実例を視察しました。

豊田市では市と農協が協力して農業研修施設の運営を、安城市ではJA主体で大規模な産直販売所を運営するなど、今後の鈴鹿農政について参考になりました。

今後、農業は鈴鹿市内の産業として、あらためて評価される時期が来ると考えています。また、漁業についても、この会で意見を出していきたいと考えています。

# 08年度下半期活動報告

しっかりと取り組んでいく必要があると考えています。委員会としてだけではなく、この課題には継続して取り組んでいきます。

### 幼稚園再編整備について

(疑問の多い中学校区での再編案)

12月25日の鈴鹿市幼稚園再編整備検討委員会では、「公立幼稚園の再編整備(案)」の審議が行われ、各中学校区での再編整備案が検討されました。案の是非にはいろいろな視点がありますが、社会が変動している中、中学校区を地域単位とすることや、これまで枠組みで考えられている再編の方方が、今後、経済不況で格差が生まれるかもしれません、就学前の子どもたちの育ちを支えるセーフティネットを守るべきという考え方とはたして重なるのかという疑問があります。中学校区での再編では公立幼稚園に通うため、自動車などの交通機関の必要性が生まれるなどの問題もあります。次世代育成と地域社会づくりの観点から、今後も会議に関心を持っていきます。

答弁は、広域連合としても重要な課題と考えて、積極的に取り組むという内容でした。今後、両市の担当課の交流も含めで、安心できる医療体制が築かれるよう市民啓発を進めていくのかを聞きました。民啓発を進めていくのかを聞きました。

答弁は、広域連合としても重要な課題と考えて、積極的に取り組むという内容でした。今後、両市の担当課の交流も含めで、安心できる医療体制が築かれるよう市民啓発を進めていくのかを聞きました。

### 議会改革と広報広聴

(開かれた議会への取り組み)

議会改革特別委員会では、議員間討議について議会で取り上げ、それについて関連団体との協議を行う形などを現在検討しています。また、広報広聴委員会では、議会の広聴のあり方を考えるために、議会よりの編集方針の見直しも検討しています。今後、鈴鹿市議会全体でも、いろいろな形で議会のあり方を検討する動きになってしまいます。難しい時代だからこそ、新しい議会と議員について考えて行動したいと思います。

議会改革特別委員会では、議員間討議について議会で取り上げ、それについて関連団体との協議を行う形などを現在検討しています。また、広報広聴委員会では、議会の広聴のあり方を考えるために、議会よりの編集方針の見直しも検討しています。今後、鈴鹿市議会全体でも、いろいろな形で議会のあり方を検討する動きになってしまいます。難しい時代だからこそ、新しい議会と議員について考えて行動したいと思います。

### 三重多文化共生を考える議員の会

(県と市に提言書を提出)

三重多文化共生を考える議員の会の活動では、12月24日に三重県知事への提言と三重県議会に対する要望書を、翌25日に会の鈴鹿市議員団として、鈴鹿市長へ提言書の提出をそれぞれ行いました。

提言の主旨は、「外国人住民への就業支援対策の強化」、「失職者に対する生活支援の強化」、「子どもたちの学ぶ権利が経済危機によって奪われることなく保障されること」の3点ですが、私はこの中でも3番目の点について、その重要性があると考

えています。外国籍の子どもたちの学ぶ権利の保障を提言に盛り込むことは、私たちの子ども達の学ぶ権利、学びの場の保障につなげたいと考えています。

それぞれの内容について、私たちにも困窮する状況があり、それら取り組むことの重要性は、もちろんのことだと考えていま

す。ただ、社会の不安定な状況は、犯罪の増加などをはじめとした社会問題の発生につながるなど、私たちの生活に影響を与えます。その低減を考えることは、私たちの生活のセーフティネットの保障にもつながると考え、今回の提言に賛同しました。